

松井 康の

MatsuInfo



【プロフィール】

松井 康

昭和38年 1月23日生まれ 大阪府出身
1988 オーストラリアPGAツアーライセンス取得
1989 日本PGAツアーライセンス取得
1994 北海道プロ会 入会



毎週土曜日札幌市内で
レッスン会場が増えました。
毎週水曜日、山鼻ゴルフセンターでも
レッスンが増えました。

詳しくは→ [松井プロゴルフスクール](#)

こんにちは、松井です。

札幌の雪まつりが終わり、冬の大きなイベントも終了し、雪融けを待つばかりとなりました。夏には4年に1度のリオデジャネイロオリンピックがあります。今回の注目は競技復活するゴルフです、1900年パリ大会、1904年セントルイス大会から数えると112年振りとなりますが、実は1936年ベルリン大会でも行われているので、正確には80年ぶりというのが正しい見解です。1900年パリ大会は10月パリ郊外のコンピエーニュで、フランス、イギリス、ギリシャ、アメリカの4カ国から男女22名のゴルフファーが参加して行われた初めてのオリンピックゴルフ競技でした。金メダルを獲得したチャールズ・サンズ(米国)が2ラウンド(36ホール)のスコア167で優勝し、2位は1打差でウォルター・ラザフォード(英国)でした。女子の部では9ホールのストローク・プレーをおこない、マーガレット・アボット(米国)が47のスコアで優勝し金メダルを獲得しました。このレベルであれば僕でも金メダルが取れそうです(笑)。また、優勝したサンズはテニス選手としても全米オープンなどで活躍し、五輪でもパリ大会と8年後のロンドン大会のテニス競技に参加したという2刀流スーパースターです。

1904年セントルイス大会のゴルフ競技は、女子の参加はなく、男子個人と男子団体の2競技のみが行われました。全参加者は77名と増えましたが、アメリカ74名、カナダ3名と完全にアメリカのための競技でした。カナダ・アマ選手権8連勝のジョージ・ライオン(カナダ)選手と、その年全米アマに優勝したばかりの新鋭、チャンドラー・イーガン(米国)の決勝となり、金メダルはライオンの胸に輝きました。

団体は参加者30名が全てアメリカ人で、10名ずつの3チームで争われた。当たり前ですが全てのメダルはアメリカ勢の独占という、オリンピックとしてはよく分からない競技となりました。また、アメリカにとっては外国人に金メダルを奪われたということなのか、またはアメリカとカナダというたった2ヶ国からの参加者で競われたからなのか、記録や写真が何一つ残っていないようです。

今回はベルリン大会のことを引き続き書きたいと思います。

See you next (^_^) ☆

プロフェッショナル用
業界をリードする鋭い切れ味・
美しい仕上がり！



LM56GB

バロネス グリーンモア

BARONESS
Quality on Demand
since 1910

<http://www.baroness.co.jp>


一般家庭用

究極の刈上がりをご家庭に！



LM12MH

バロネス モーターモア

 **株式会社 共栄社**

<札幌営業所>

〒061-1123 北海道北広島市朝日町6丁目1番18号 シャイニングウェルズ1-4
TEL: 011-376-8050 FAX: 011-376-8060